

Starter Pack、ファームウェアのバージョンの確認と適用方法 (Express5800/R120h-1M/2M/1E/2E, T120h, R110j-1)

Express5800/R120h-1M/2M/1E/2E, T120h, R110j-1(以下「サーバ」)に適用、収録される Starter Pack、ファームウェアは、ご注文時の最新バージョンで出荷されます。また、サーバの更なる安定稼働のため、更新版がリリースされることがあります。

ご使用の OS により、使用できる Starter Pack、ファームウェアのバージョンが異なるため、「OS と Starter Pack の対応表」を確認の上、ご使用の OS に合った最新の Starter Pack、ファームウェアのバージョンをご使用ください。

はじめに

本書では、使用する Starter Pack の確認方法、ご購入時または使用中のサーバに適用されている Starter Pack、ファームウェアのバージョンの確認方法を説明します。また、Starter Pack のアップデート、ダウングレードについて説明します。

1. [使用する Starter Pack のバージョン確認方法](#)
2. [サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法](#)
3. [Starter Pack の入手方法](#)
4. [Starter Pack のアップデートについて](#)
5. [Starter Pack のダウングレードについて](#)

本書と合わせて、以下の説明書の最新版、手順、ヘルプを合わせてご確認ください。

本書の「OS と Starter Pack の対応表」の記載例は、安定動作および新機種追加のため、新バージョンが公開、追加されている場合がありますので、最新版をご確認ください。

・NEC サポートポータル各モデルの製品マニュアルのページに掲載している以下の説明書

- OS と Starter Pack の対応表
- iLO5 ユーザーズガイド
- ファームウェアダウングレード手順書(RedHat Enterprise Linux 7.3 編)(該当モデルのみ掲載)
- ファームウェアダウングレード手順書(R110j-1, RedHat Enterprise Linux 7.5 編)(該当モデルのみ掲載)

・Starter Pack のダウンロード画面に表示される「EXPRESSBUILDER の更新」「アップデート手順」

・ESMPRO/ServerManager のオンラインヘルプ

1. 使用する Starter Pack のバージョン確認方法

ご使用のモデルに対応する「OS と Starter Pack の対応」を確認して、使用する OS に対応した最新の Starter Pack バージョンを確認します。

例:モデル名末尾に(3rd-Gen)が付いている製品

「OS と Starter Pack の対応」の「OS と Starter Pack 対応表」の記載例:

| 対応 OS | | Starter Pack バージョン | |
|----------------|--------------|---------------------------------|--|
| | | S8.10-006.06 (2019/12/26 公開) | |
| Windows Server | 2012R2 | ✓ | |
| | 2016 | ✓ | |
| | 2019 | ✓ | |
| VMware ESXi | 6.5 update 2 | ✓ | |
| | 6.5 update 3 | ✓ | |
| | 6.7 update 2 | ✓ | |
| | 6.7 update 3 | ✓ | |

上記例では、最新の Starter Pack バージョンは、対応 OS すべて **S8.10-006-06** になります。

例:モデル名末尾に(2nd-Gen)が付いている製品

「OS と Starter Pack の対応」の「OS と Starter Pack 対応表」の記載例:

| 対応 OS | | Starter Pack バージョン | | |
|--------------------------|--------------|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | | S8.10-006.02 (2019/05/27 公開) | S8.10-006.03/04 (2019/09/06 公開) | S8.10-006.05/06 (2019/12/26 公開) |
| Windows Server | 2012R2 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 2016 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 2019 | ✓ | ✓ | ✓ |
| Red Hat Enterprise Linux | 7.6 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 7.7 | | | ✓ |
| | 8.0(※3) | | | ✓ |
| VMware ESXi | 6.5 update 2 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 6.5 update 3 | | ✓ | ✓ |
| | 6.7 update 2 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 6.7 update 3 | | ✓ | ✓ |

上記例では、最新の Starter Pack バージョンは、対応 OS すべて **S8.10-006-06** になります。

例:モデル名末尾に(2nd-Gen、3rd-Gen)が付いていない製品

「OS と Starter Pack の対応」の「サーバと Starter Pack 対応表」の記載例:

| | | Starter Pack バージョン | | | | | | |
|-------------|---|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| サーバ | | S8.10-001.xx (2017/08/06 公開) | S8.10-002.xx (2017/12/27 公開) | S8.10-003.xx (2018/03/14 公開) | S8.10-004.xx (2019/02/18 公開) | S8.10-006.01/02 (2019/05/27 公開) | S8.10-006.03/04 (2019/09/06 公開) | S8.10-006.05/06 (2019/12/26 公開) |
| R120h-1M/2M | N8100-2557Y/2561Y/2562Y/2563Y/2564Y/2565Y | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| R120h-1E/2E | N8100-2602Y/2603Y/2604Y/2606Y | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| T120h | N8100-2640Y/2641Y | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |

「OS と Starter Pack の対応」の「OS と Starter Pack 対応表」の記載例:

| | | Starter Pack バージョン | | | | | | |
|--------------------------|---------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 対応 OS | | S8.10-001.xx (2017/08/06 公開) | S8.10-002.xx (2017/12/27 公開) | S8.10-003.xx (2018/03/14 公開) | S8.10-004.xx (2019/02/18 公開) | S8.10-006.01/02 (2019/05/27 公開) | S8.10-006.03/04 (2019/09/06 公開) | S8.10-006.05/06 (2019/12/26 公開) |
| Windows Server | 2012R2 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 2016 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 2019 | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| Red Hat Enterprise Linux | 6.9 (x86_64) | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 6.10 (x86_64) | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 7.3 (※1) | | ✓ | ✓ | | | | |
| | 7.4 (※1) | | ✓ | ✓ | | | | |
| | 7.5 (※1) | | | | ✓ | ✓ | ✓ | |
| | 7.6 (※1) | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 7.7 (※1) | | | | | | | ✓ |
| VMware ESXi | 6.0 update 3 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 6.5 update 1 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | |
| | 6.5 update 2 | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 6.5 update 3 | | | | | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 6.7 | | | | | ✓ | ✓ | |
| | 6.7 update 1 | | | | ✓ | ✓ | ✓ | |
| | 6.7 update 2 | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 6.7 update 3 | | | | | | ✓ | ✓ |

上記例では、緑枠の Starter Pack バージョンが各 OS の最新バージョンになります。

- 1) R120h-1M で Windows Server 2019 を使用する場合、**S8.10-006-06** が最新の Starter Pack になります。
- 2) R120h-2E で Red Hat Enterprise Linux7.3 を使用する場合、**S8.10-003-xx** が最新の Starter Pack になります。

2. サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法

購入時に適用されている Starter Pack バージョンの確認

サーバをご購入後、Starter Pack の適用やファームウェアの変更を行っていない場合、以下の方法により、EXPRESSBUILDERのバージョンおよびiLO5のファームウェアバージョンを確認することで、サーバに適用されている Starter Pack のバージョンを確認することができます。

EXPRESSBUILDER、iLO5 ファームウェアのバージョンの確認方法

EXPRESSBUILDER、iLO5 のファームウェアバージョンを以下のいずれかの方法で確認します。

- **サーバのローカルコンソールで確認する方法**

1. サーバの電源が ON の場合は、シャットダウンして電源を OFF にします。
2. サーバにディスプレイとキーボードを接続します。
3. サーバの電源を ON にします。POST 画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押します。
4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information → System Information → Firmware Information」を選択します。
5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「EXPRESSBUILDER」→ EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
 - 画面の「BMC Firmware Version」→ iLO5 のファームウェアバージョン
6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。
注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイドの「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照します。

- **iLO Web インターフェースを利用して、リモートから確認する方法**

1. iLO5 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備します。
2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェースに接続し、ログインします。
3. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
4. iLO Web インターフェース画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「EXPRESSBUILDER」→ EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
 - 画面の「iLO5 Firmware」→ iLO5 のファームウェアバージョン
5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェース画面を閉じます。
注) iLO Web インターフェースの操作方法は、iLO5 ユーザーズガイドをご参照ください。

Starter Pack のバージョンの確認

EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョンと iLO5 のファームウェアバージョンから、「OS と Starter Pack の対応」の「サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法」に記載されている Starter Pack のバージョンを確認します。

例:モデル名末尾に(3rd-Gen)が付いている製品

「サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法」の記載例:

| EXPRESSBUILDER の ファームウェアバージョン | iLO5 のファームウェア バージョン | 対応する Starter Pack のバージョン |
|----------------------------------|------------------------|--------------------------|
| 3.31.63 (E8.10-006.02) | 1.47 | S8.10-006.06 |

例:モデル名末尾に(2nd-Gen)が付いている製品

「サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法」の記載例:

| EXPRESSBUILDER の ファームウェアバージョン | iLO5 のファームウェア バージョン | 対応する Starter Pack のバージョン |
|---|------------------------|--------------------------|
| 3.30.213 (E8.10-006.01) | 1.40 | S8.10-006.02 |
| 3.30.213 (E8.10-006.01) 3.31.63 (E8.10-006.02) | 1.43 | S8.10-006.03/04 |
| 3.31.63 (E8.10-006.02) | 1.45 1.47 | S8.10-006.05/06 |

例:モデル名末尾に(2nd-Gen、3rd-Gen)が付いていない製品

「サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法」の記載例:

| EXPRESSBUILDER の ファームウェアバージョン | iLO5 のファームウェア バージョン | 対応する Starter Pack のバージョン |
|---|------------------------|-----------------------------------|
| (任意のバージョン) | 1.00 | S8.10-001.xx (R120h-1M/2M) |
| | 1.10 | S8.10-001.xx (R120h-1M/2M) |
| | 1.15 | S8.10-002-xx (R120h-1E/2E, T120h) |
| | 1.20 | |
| | 1.30 | |
| 3.10.222 (E8.10-003.01) | 1.35 | S8.10-003.xx |
| | 1.38 | |
| 3.20.154 (E8.10-004.01) | 1.35 | S8.10-004.xx |
| | 1.38 | |
| 3.30.213 (E8.10-006.01) | 1.40 | S8.10-006.01/02 |
| 3.30.213 (E8.10-006.01) 3.31.63 (E8.10-006.02) | 1.43 | S8.10-006.03/04 |
| 3.31.63 (E8.10-006.02) | 1.45 | S8.10-006.05/06 |
| | 1.47 | |

使用しているサーバの Starter Pack バージョンの確認

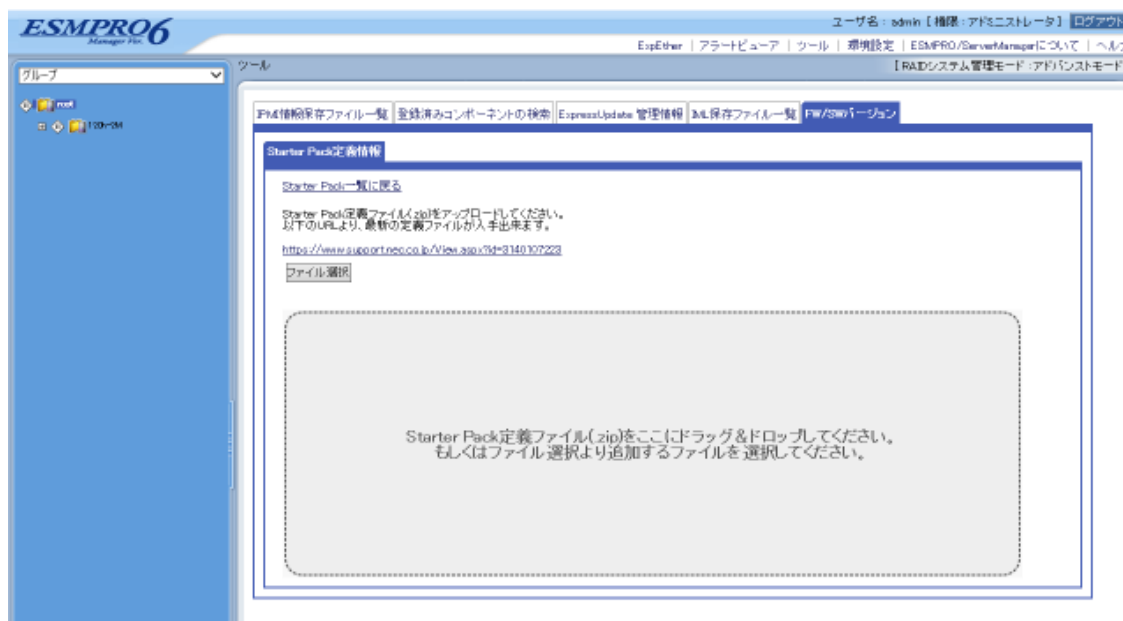
ご使用のサーバに適用されている Starter Pack バージョンは、ESMPRO/ServerManager(Ver6.47 以降)と iLO Web インターフェースで確認することができます。ESMPRO/ServerManager Ver6.47 では、一部の FW/SW のみの表示であるため、詳細確認は iLO Web インターフェースで行ってください。

- **ESMPRO/ServerManager Ver6.47 以降を利用して確認する方法**

「構成」-「FW/SW バージョン」の表示機能を利用してサーバに適用されている Starter Pack バージョン、またはコンポーネント(以後 FW/SW と記載)のバージョンを確認します。

注) ESMPRO/ServerManager の操作方法は、ESMPRO/ServerManager のオンラインヘルプをご参照ください。

1. 初めて ESMPRO/ServerManager の FW/SW バージョンの表示機能を使用する場合、
[Starter Pack とファームウェアについて\(Express5800/R120h-1M/2M/1E/2E, T120h, R110j-1\)](#)
から定義ファイルをダウンロードして ESMPRO/ServerManager に取り込んでください。



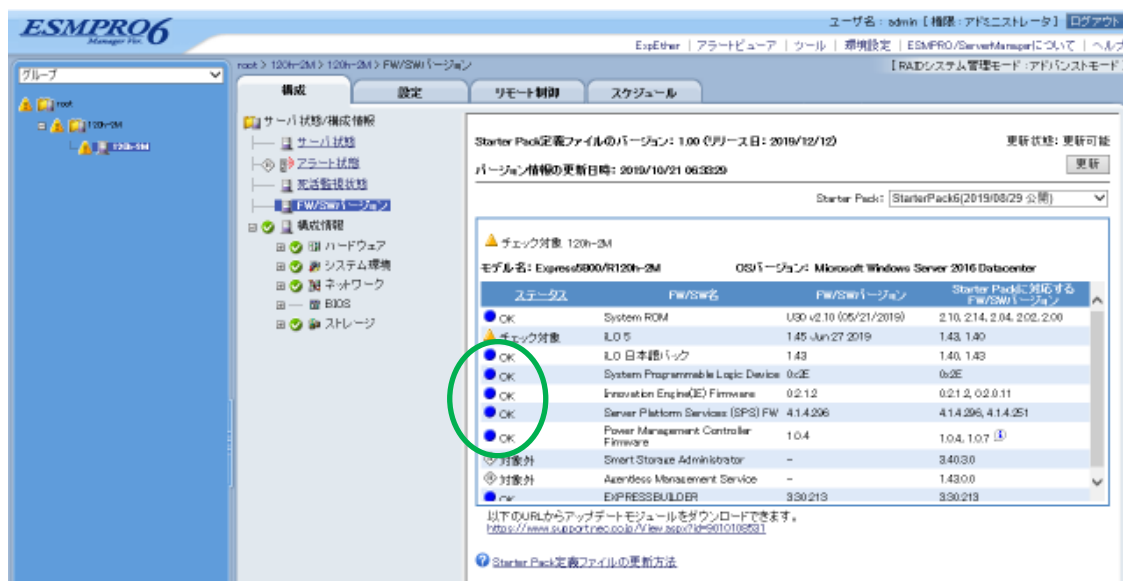
2. 「構成ページ」-「FW/SW バージョン」を表示する。



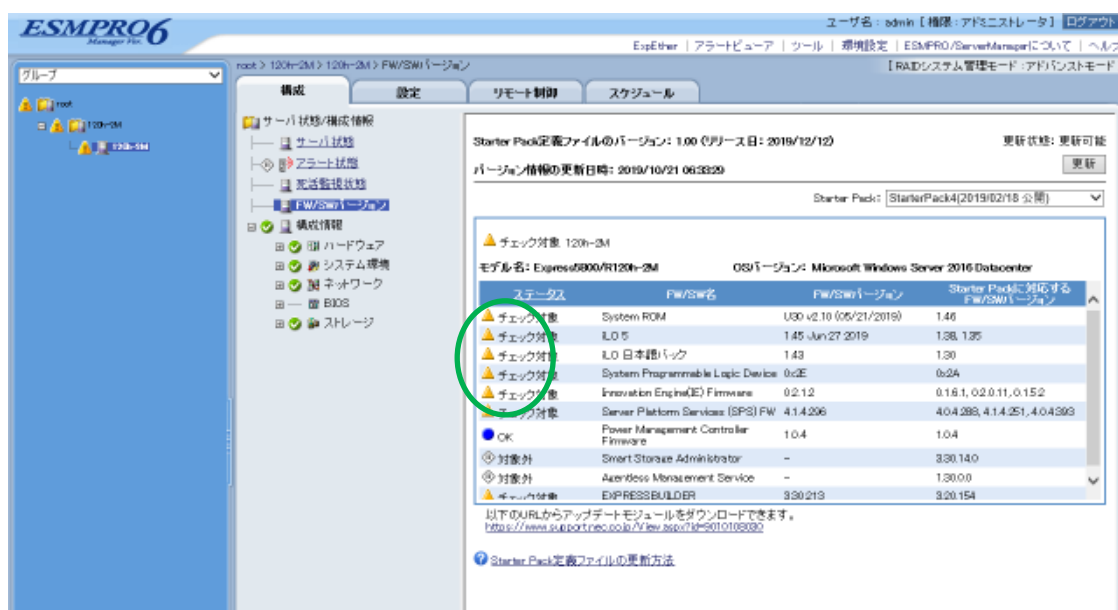
3. Starter Pack を選択し、更新ボタンを押下してください。サーバに適用されている Starter Pack バージョンと選択した Starter Pack の FW/SW バージョンが表示されます。



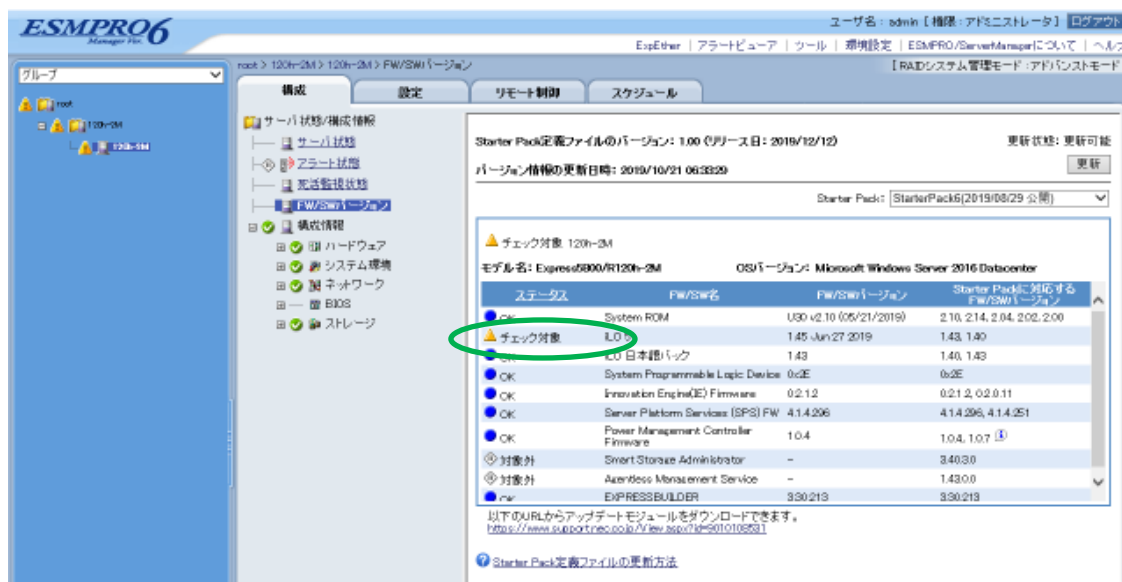
4. 選択した Starter Pack で、各 FW/SW のステータス欄に「OK」と表示されるものが選択した Starter Pack に一致していることを示します。



5. 選択した Starter Pack でチェック対象が多く表示される場合、Starter Pack を選びなおし、再度更新ボタンを押下してください。各 FW/SW のステータス欄が「OK」と一番多く表示されるものが、サーバに適用されている Starter Pack バージョンとなります。

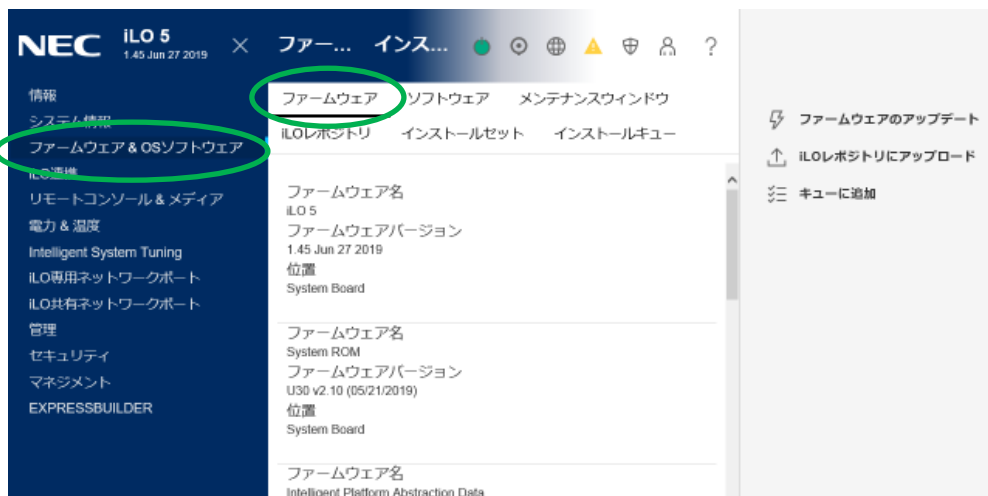


6. 個別のコンポーネントのみを更新されている場合、すべての FW/SW のステータスが「OK」とならず、一部「チェック対象」と表示されることがあります。
 この場合、NEC サポートポータルの [Starter Pack とファームウェアについて\(Express5800/R120h-1M/2M/1E/2E, T120h, R110j-1\)](#) の ESMPro/ServerManager の定義ファイルまたは、チェック対象と表示される FW/SW の最新版をご確認ください。



- iLO Web インターフェースを利用して、リモートから確認する方法

1. iLO5 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備します。
2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェースに接続し、ログインします。
3. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。



4. 「OS と Starter Pack の対応表」の「Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧」と iLO Web インターフェース画面に表示される FW/SW のバージョンを確認します。FW/SW(コンポーネント)のバージョンが一致する項目が一番多い Starter Pack がサーバに適用されている Starter Pack バージョンになります。

例: モデル名末尾に(3rd-Gen)が付いている製品

「OS と Starter Pack 対応表」の「Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧」の記載例:

| 対応するコンポーネント | Starter Pack バージョン |
|---|----------------------------------|
| | S8.10-006.06 (2019/12/26 公開) |
| ◎System ROM (BIOS) | ◎2.16 (2.10) |
| ◎iLO5 (BMC) FW | ◎1.47 (1.45) |
| ◎iLO5 日本語パック | ◎1.43 |
| ◎Innovation Engine (IE) FW | ◎0.2.1.2 |
| ◎Server Platform Services (SPS) FW | ◎04.01.04.296 |
| EXPRESSBUILDER | E8.10-006.02 FW Ver. 3.31.63 |
| ◎Power Management Controller Firmware | 1.0.7 ◎1.0.4 |
| ◎RAID 通報サービス (Windows 用) | ◎3682 |
| ◎Agentless Management Service (Windows 用) | ◎1.44.0.0 |
| Agentless Management Service (VMware 用) | yyy.11.4.5 |
| ◎iLO Channel Interface Driver (Windows 用) | ◎4.5.0.0 |
| iLO Channel Interface Driver (VMware 用) | 650.10.3.0 670.10.1.0 |
| WBEM Provider (VMware 用) | 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3 |
| ◎Smart Storage Administrator (Windows 用) | ◎3.47.6.0 |
| Smart Storage Administrator (VMware 用) | 3.47.6.0 |
| ESMPRO/ServerManager (監視サーバー用) | 6.42 |
| ◎ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用) | ◎2.16 |

◎二重丸: Starter Pack に同梱されるコンポーネント。無印は、Web サイト上に掲載。
 (括弧で囲まれたバージョン): 旧バージョン。括弧の付いていない最新バージョンを適用することを推奨します。
 VMware 向けコンポーネントの yyy: ESXi のバージョン (例: 6.7 → 670, 6.5 → 650)

System ROM(BIOS)、iLO5(BMC) FW はダウングレード対象外のため、複数のバージョンが同一 Starter Pack 内に存在します。

例: モデル名末尾に(2nd-Gen)が付いている製品

「OS と Starter Pack 対応表」の「Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧」の記載例:

| 対応するコンポーネント | Starter Pack バージョン | | | |
|--|--|---|------------------------------------|------------------------------------|
| | S8.10-006.02 (2019/05/27 公開) | S8.10- 006.03/04 (2019/09/06 公開) | S8.10-006.05 (2019/11/11 公開) | S8.10-006.06 (2019/12/26 公開) |
| ◎System ROM (BIOS) | ◎2.04 | ◎2.10 | ◎2.10 | ◎2.16 (2.10) |
| ◎iLO5 (BMC) FW | 1.45 1.43 ◎1.40 | 1.45 ◎1.43 | ◎1.45 | ◎1.47 (1.45) |
| ◎iLO5 日本語パック | ◎1.40 | ◎1.40 | ◎1.43 | ◎1.43 |
| ◎Innovation Engine (IE) FW | ◎0.2.0.11 | ◎0.2.1.2 | ◎0.2.1.2 | ◎0.2.1.2 |
| ◎Server Platform Services (SPS) FW | ◎04.01.04.251 | ◎04.01.04.296 | ◎04.01.04.296 | ◎04.01.04.296 |
| EXPRESSBUILDER | E8.10-006.01 FW Ver: 3.30.213 | E8.10-006.01 FW Ver: 3.30.213 | E8.10-006.02 FW Ver: 3.31.63 | E8.10-006.02 FW Ver: 3.31.63 |
| ◎Power Management Controller Firmware | ◎1.0.4 | ◎1.0.4 | 1.0.7 ◎1.0.4 | 1.0.7 ◎1.0.4 |
| ◎RAID 通報サービス (Windows 用) | ◎3654 | ◎3682 | ◎3682 | ◎3682 |
| ◎RAID 通報サービス (RHEL 用) | ◎3652 | ◎3682 | ◎3682 | ◎3682 |
| ◎Agentless Management Service (Windows 用) | ◎1.40.0.0 | ◎1.43.0.0 | ◎1.44.0.0 | ◎1.44.0.0 |
| ◎Agentless Management Service (RHEL 用) | ◎1.4.0 | ◎1.4.0 | ◎1.4.2 | ◎1.4.2 |
| Agentless Management Service (VMware 用) | yyy.11.4.0 | yyy.11.4.0 | yyy.11.4.5 | yyy.11.4.5 |
| ◎iLO Channel Interface Driver (Windows 用) | ◎4.3.0.0 | ◎4.3.0.0 | ◎4.5.0.0 | ◎4.5.0.0 |
| iLO Channel Interface Driver (RHEL 用) | サポートする Linux Kernel に組込 | | | |
| iLO Channel Interface Driver (VMware 用) | 600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0 | 650.10.3.0 670.10.1.0 | 650.10.3.0 670.10.1.0 | 650.10.3.0 670.10.1.0 |
| WBEM Provider (VMware 用) | 600.03.15.00.2 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3 | 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3 | 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3 | 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3 |
| ◎Smart Storage Administrator (Windows, RHEL 用) | ◎3.40.3.0 | ◎3.40.3.0 | ◎3.47.6.0 | ◎3.47.6.0 |
| Smart Storage Administrator (VMware 用) | 3.40.3.0 | 3.40.3.0 | 3.47.6.0 | 3.47.6.0 |
| ESMPRO/ServerManager (監視サーバー用) | 6.42 | 6.42 | 6.42 | 6.42 |
| ◎ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用) | ◎2.14 | ◎2.16 | ◎2.16 | ◎2.16 |
| ◎ESMPRO/ServerAgentService (RHEL 用) | ◎2.1.1-0 | ◎2.1.1-0 | ◎2.1.1-0 | ◎2.1.1-0 |

◎二重丸: Starter Pack に同梱されるコンポーネント。無印は、Web サイト上に掲載。

(括弧で囲まれたバージョン): 旧バージョン。括弧の付いていない最新バージョンを適用することを推奨します。

VMware 向けコンポーネントの yyy: ESXi のバージョン (例: 6.7 → 670, 6.5 → 650)

System ROM(BIOS)、iLO5(BMC) FW はダウングレード対象外のため、複数のバージョンが同一 Starter Pack 内に存在します。

例: モデル名末尾に(2nd-Gen、3rd-Gen)が付いていない製品

「OS と Starter Pack 対応表」の「Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧」の記載例:

| 対応するコンポーネント | Starter Pack バージョン | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|--|--|--|
| | S8-10-001.xx (2017/08/06 公開) | S8-10-002.xx (2017/12/27 公開) | S8-10-003.xx (2018/03/14 公開) | S8-10-004.xx (2019/02/18 公開) | S8-10-006.01/02 (2019/05/27 公開) | S8-10-006.03/04 (2019/09/06 公開) | S8-10-006.05 (2019/11/11 公開) | S8-10-006.06 (2019/12/26 公開) |
| ◎System ROM (BIOS) | 2.10 (2.04) ~ ◎(1.20) (1.02) (1.00) | 2.10 (2.04) ~ (1.22) ◎(1.20) | 2.10 (2.04) ~ (1.40) ◎(1.36) | 2.10 (2.04) (2.02) (2.00) ◎(1.46) (1.42) | ◎2.10 (2.04) (2.02) (2.00) | ◎2.10 | 2.16 ◎2.10 | ◎2.16 (2.10) |
| ◎iLO5 (BMC) FW | ◎1.15 (1.10) (1.00) | ◎1.15 | 1.38 (1.35) (1.30) ◎(1.20) | ◎1.38 (1.35) | 1.45 1.43 ◎1.40 | 1.45 ◎1.43 | 1.47 ◎1.45 | ◎1.47 (1.45) |
| ◎iLO5 日本語パック | ◎1.15 (1.1) | ◎1.15 | 1.30 ◎(1.20) | ◎1.30 | ◎1.40 | ◎1.40 | ◎1.43 | ◎1.43 |
| ◎Innovation Engine (IE) FW | 0.1.4.4 (0.1.0.28) | 0.1.4.4 | 0.2.0.11 (0.1.6.1) (0.1.5.2) | 0.2.0.11 (0.1.6.1) | ◎0.2.0.11 | ◎0.2.1.2 | ◎0.2.1.2 | ◎0.2.1.2 |
| ◎Server Platform Services (SPS) FW | 04.00.04.288 (04.00.03.219) (04.00.03.211) | 04.00.04.288 (04.00.03.219) | 04.01.04.251 (04.00.04.288) | 04.01.04.251 (04.00.04.393) (04.00.04.288) | ◎04.01.04.251 | ◎04.01.04.296 | ◎04.01.04.296 | ◎04.01.04.296 |
| EXPRESSBUILDER | E8.10-001.01 FW Ver: 3.02.10 | E8.10-001.01 FW Ver: 3.02.10 | E8.10-003.01 FW Ver: 3.10.222 | E8.10-004.01 FW Ver: 3.20.154 | E8.10-006.01 FW Ver: 3.30.213 | E8.10-006.01 FW Ver: 3.30.213 | E8.10-006.02 FW Ver: 3.31.63 | E8.10-006.02 FW Ver: 3.31.63 |
| ◎Power Management Controller Firmware | ◎1.0.4 (1.0.2) | ◎1.0.4 | ◎1.0.4 | ◎1.0.4 | ◎1.0.4 | ◎1.0.4 | 1.0.7 ◎1.0.4 | 1.0.7 ◎1.0.4 |
| ◎RAID 通報サービス (Windows 用) | 3682 (3654) (◎3537) (3497) (3485) (3459) | 3682 (3654) (◎3537) (3497) (3485) | 3682 (3654) (◎3537) | 3682 (3654) (◎3537) | ◎3654 | ◎3682 | ◎3682 | ◎3682 |
| ◎RAID 通報サービス (RHEL 用) | 3682 (3655: RHEL6, 3652: RHEL7) (◎3532) (3485) | 3682 (3655: RHEL6, 3652: RHEL7) (3532) (◎3485) | 3682 (◎3655: RHEL6, ◎3652: RHEL7) (◎3532) | 3682 (◎3655: RHEL6, ◎3652: RHEL7) | ◎3652 | ◎3682 | ◎3682 | ◎3682 |
| ◎Agentless Management Service (Windows 用) | ◎1.15.0.0 (1.10.0.0) | ◎1.15.0.0 | ◎1.20.0.0 | ◎1.30.0.0 | ◎1.40.0.0 | ◎1.43.0.0 | ◎1.44.0.0 | ◎1.44.0.0 |
| ◎Agentless Management Service (RHEL 用) | ◎1.1.0 (1.0.0) | ◎1.1.0 | ◎1.2.0 | ◎1.32 (1.3.1) (1.3.0) | ◎1.4.0 | ◎1.4.0 | ◎1.4.2 | ◎1.4.2 |
| Agentless Management Service (VMware 用) | yyy.11.1.5 | yyy.11.1.5 | yyy.11.3.0 (yyy.11.2.0) | yyy.11.3.6 (yyy.11.3.0) | yyy.11.4.0 | yyy.11.4.0 | yyy.11.4.5 | yyy.11.4.5 |
| ◎iLO Channel Interface Driver (Windows 用) | ◎4.0.0.0 | ◎4.0.0.0 | ◎4.1.0.0 | ◎4.3.0.0 | ◎4.3.0.0 | ◎4.3.0.0 | ◎4.5.0.0 | ◎4.5.0.0 |
| iLO Channel Interface Driver (RHEL 用) | サポートする Linux Kernel に組込 | | | | | | | |
| iLO Channel Interface Driver (VMware 用) | yyy.10.1.0 | yyy.10.1.0 | 600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0 | 600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0 | 600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0 | 600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0 | 600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0 | 600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0 |
| WBEM Provider (VMware 用) | yyy.03.12.50.2 | yyy.03.12.50.2 | yyy.03.14.00.3 (yyy.03.13.00.6) | yyy.03.14.00.3 | 600.03.15.00.2 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3 | 600.03.15.00.2 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3 | 600.03.15.00.2 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3 | 600.03.15.00.2 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3 |
| ◎Smart Storage Administrator (Windows, RHEL 用) | ◎3.10.3.0 | ◎3.10.3.0 | 3.30.14.0 ◎(3.25.4.0) | ◎3.30.14.0 | ◎3.40.3.0 | ◎3.40.3.0 | ◎3.47.6.0 | ◎3.47.6.0 |
| Smart Storage Administrator (VMware 用) | 3.10.3.0 | 3.10.3.0 | 3.30.14.0 (3.25.4.0) | 3.30.14.0 | 3.40.3.0 | 3.40.3.0 | 3.47.6.0 | 3.47.6.0 |
| ESMPRO/ServerManager (監視サーバ用) | 6.42 (6.41) ~ (6.20) | 6.42 (6.41) ~ (6.23) | 6.42 (6.41) ~ (6.25) | 6.42 (6.41) ~ (6.31) | 6.42 (6.41) | 6.42 | 6.42 | 6.42 |
| ◎ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用) | 2.16 (2.14) ~ ◎(2.03) (2.00) | 2.16 (2.14) ~ ◎(2.02) | 2.16 (2.14) ~ (2.07) ◎(2.06) | 2.16 (2.14) (2.12) ◎(2.1) (2.07) | ◎2.14 (2.12) | ◎2.16 | ◎2.16 | ◎2.16 |
| ◎ESMPRO/ServerAgentService (RHEL 用) | 2.1.1-0 (2.1.0-0) (2.0.8-0) (2.0.7-0) ◎(2.0.4-0) | 2.1.1-0 (2.1.0-0) (2.0.8-0) (2.0.7-0) ◎(2.0.3-0) | 2.1.1-0 (2.1.0-0) (2.0.8-0) ◎(2.0.7-0) | 2.1.1-0 (2.1.0-0) ◎(2.0.8-0) | ◎2.1.1-0 (2.1.0-0) | ◎2.1.1-0 | ◎2.1.1-0 | ◎2.1.1-0 |

◎二重丸: Starter Pack に同梱されるコンポーネント。無印は、Web サイト上に掲載。
(括弧で囲まれたバージョン): 旧バージョン。括弧の付いていない最新バージョンを適用することを推奨します。
VMware 向けコンポーネントの yyy: ESXi のバージョン (例: 6.7 → 670, 6.5 → 650)

System ROM(BIOS)、iLO5(BMC) FW はダウングレード対象外のため、複数のバージョンが同一 Starter Pack 内に存在します。

3. Starter Pack の入手方法

サーバに適用されている Starter Pack と異なる Starter Pack バージョンを使用する場合、NEC サポートポータルから使用する Starter Pack をダウンロードします。以下に Starter Pack をダウンロードする手順例を示します。

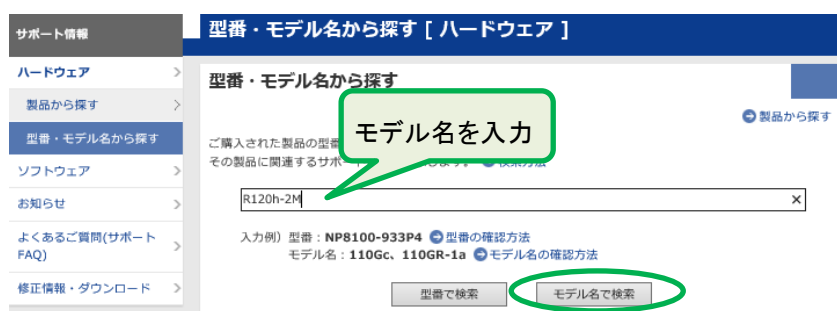
1. [NEC サポートポータル](#)の「サポート情報」-「ハードウェア」をクリックします。



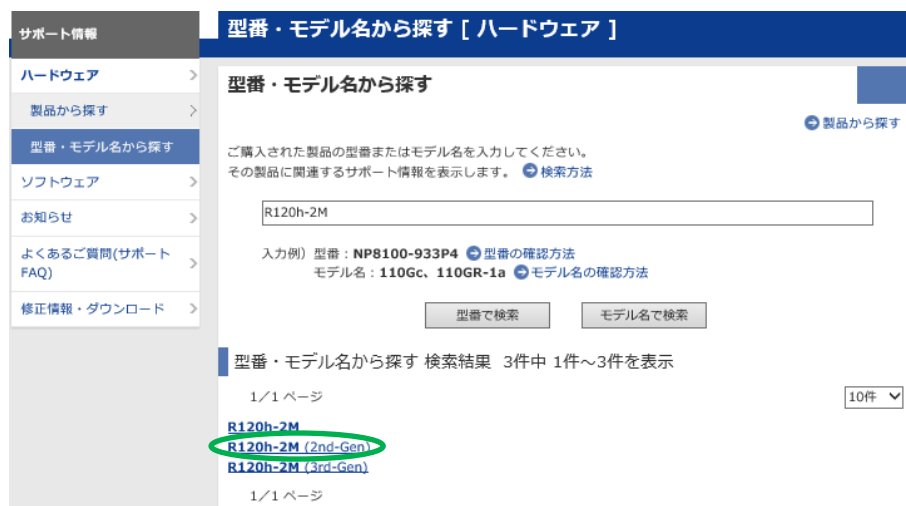
2. 「型番・モデル名から探す」をクリックします。



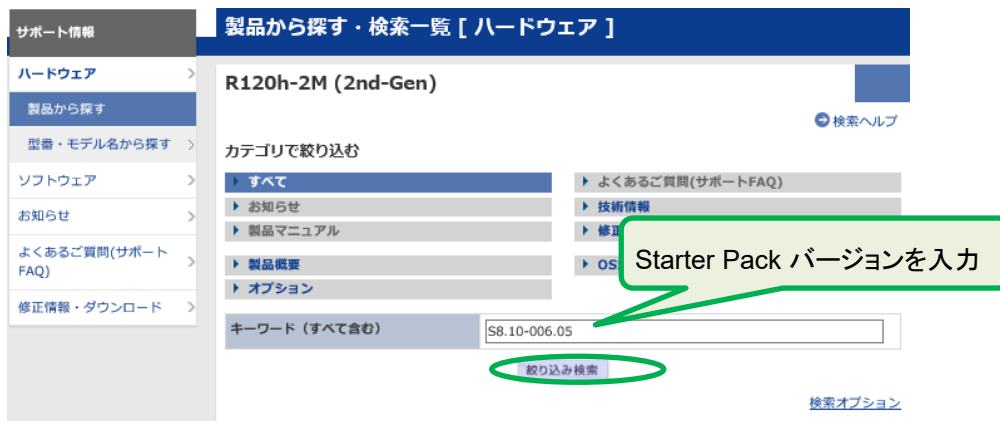
3. 使用になる製品のモデル名を入力し、「モデル名で検索」をクリックします。



4. 使用になる製品のモデル名をクリックします。(例: R120h-2M(2nd-Gen))



5. キーワードに使用になる Starter Pack バージョンを入力し、「絞り込み検索」をクリックします



6. 検索結果に表示される Starter Pack を選択し、表示に従って Starter Pack をダウンロードします。
修正情報・ダウンロード画面で表示される「EXPRESSBUILDER の更新」「アップデート手順」は、Starter Pack に適用時に参照できるようにしてください。

検索結果表示例:



4. Starter Pack のアップデートについて

ご使用の OS に対応する Starter Pack バージョンとサーバに適用されている Starter Pack バージョンを比べて、新しい Starter Pack バージョンがある場合、Starter Pack の入手方法に従って Starter Pack を入手し、アップデートを行うことを推奨します。

Starter Pack を入手する際のダウンロード画面に表示される「EXPRESSBUILDER の更新」「アップデート手順」に従って Starter Pack のアップデートを行ってください。

既に OS がサーバにインストールされていても、Starter Pack のアップデートは、手順に従って行うことができます。

5. Starter Pack のダウングレードについて

Red Hat Enterprise Linux(以下、RHEL)をインストールする際に、事前に Starter Pack を用いてファームウェアダウングレードが必要となる場合があります。Starter Pack によるダウングレードは、サーバに **OS をインストールする前に**必ず行ってください。ダウングレードが必要となるケースは以下です。(2020 年 1 月 31 日現在)

- R110j-1 に RHEL7.5~7.x をインストールする (※2nd-Gen は対象外)
- R120h-1M/2M/1E/2E,T120h に RHEL7.3~7.x をインストールする (※2nd-Gen、3rd-Gen は対象外)

OS が既にインストールされている場合、OS をクリアして、Starter Pack のダウングレード後に再インストールしてください。

Starter Pack によるダウングレードは、ファームウェアダウングレード手順書の手順に従って、行ってください。

ファームウェアダウングレード手順書は、NEC サポートポータル²の該当モデルの製品マニュアルのページに掲載されています。

変更履歴

| 版数 | 改版日 | 改版内容 |
|----|-----------------|------|
| 1 | 2020 年 1 月 31 日 | 初版 |

■ 本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点がある場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

| | |
|------------------------------------|---|
| 連絡先 | : ファーストコンタクトセンター |
| T E L | : 0120-5800-72 |
| 受付時間 | : 9:00～12:00 13:00～17:00 月曜日～金曜日（除祝日、弊社休日） |
| ※ 番号をお間違えにならないよう、よくお確かめの上、おかけください。 | |

NEC